



「絵本とわらべうたの会」2023年度⑧

日時 12月5日(火) 10:00~11:00
場所 西公民館 2階 和室
定員 15組程度
申込み 11/14(火)~

就園前の子どもとお母さんを対象にわらべうたで楽しいひとときを過ごします。

申し込みが必要ですが、当日来ていただいても定員に余裕がある場合はご参加いただけます。

「芝川絵本とわらべうたの会」2023年度②

日時 12月9日(土) 10:00~11:00
場所 芝川公民館 芝川子どもふれあい広場
対象 富士宮市在住の乳幼児・小学生と保護者
申込み 11/6(月)~

親子でわらべうたや絵本の読み聞かせで楽しい時間を過ごします。平日の「絵本とわらべうたの会」には参加できない小学生も大歓迎です。体を使った動きの大きいわらべうたは小学生でもじゅうぶん楽しめます。

申し込みが必要ですが、当日来ていただいても、定員に余裕がある場合はご参加いただけます。

市民読書サポーターのいる日程 11月

市立中央図書館 (10:00~12:00)	4日(土)	11日(土)	18日(土)	25日(土)
--------------------------	-------	--------	--------	--------

昔話の本の紹介・・・こぐま社の「子どもに語る」シリーズ



こぐま社の「子どもに語る」シリーズは、『グリムの昔話』全6巻、『日本の昔話』全3巻、『アジアの昔話』全2巻、『アンデルセンのお話』全2巻、『アラビアンナイト』、『日本の神話』の他に、「トルコ」「イタリア」「モンゴル」「ロシア」「中国」と、左記の3冊の昔話が出版されている。

子どもに語るイギリスの昔話
(松岡享子 翻訳)

「かしこいモリー」は、森に捨てられた三姉妹がやっと見つけた一軒の家は人食いの大男の家だった。一番年下のモリーの機転でうまく逃れるが……。『赤鬼エティン』は、エティンの出す謎に答えられず石に変えられてしまった兄。続いて弟も旅に出る。全16編。

子どもに語るアイルランドの昔話
(渡辺洋子・柴木啓子 翻訳)

妖精の国では赤ん坊を育てるミルクがいつも不足している。それで乳のよく出るめ牛をさらったり、乳の出るおかみさんをさらったりする「妖精とめ牛」や「妖精の乳母」の話。「妖精の丘が燃えている」は、離れ小島でたったひとり留守番をするおかみさんのところへ、糸つむぎの仕事を手伝うから夜食をおくれ、と三人の妖精がやってくる。全14編。

子どもに語る北欧の昔話
(梶井信子・湯沢朱実 翻訳)

男の子が、吹き飛ばされた粉を取りもどしに北風を訪ねていく「北風をたずねていった男の子」(ノルウェー)。「屋根がチーズでできた家」(スウェーデン)は、恐ろしいトロル女がチーズの屋根で子どもをおびき寄せる。全15編。